

### CONTENTS

#### 〈商大トピック〉

- 2008年度入学式
- ファイナンシャル  
プランニング専攻スタート
- 大学機関別認証評価認定
- 元プロバスケット選手本学園監督就任

#### 〈アジアレポート〉

- アジアビジネス専攻第二期生出発
- 孔子学院便り

### 経営学部 開設 2009年4月 (設置構想中)

岡山商科大学では従来の商学部を新たに経営学部とし、経営学科と商学科の2学科を設置する予定で文部科学省と協議中です。

経営学部 経営学科

- 経営コース
- 情報コース
- 会計コース

経営学部 商学科

- マーケティングコース
- デザインコース
- 観光コース
- アジアビジネスコース
- ファイナンシャルプランニングコース

# 商大 トピック

## Topic 1

### 卒業式・卒業記念パーティー



3月22日(土)、卒業式を挙行了しました。商学部265名、法経学部140名の計405名が4年間、勉学に、サークル活動に励んできた学舎を後にしました。学科再編の節目となり、産業経営学科、国際観光学科にとっては最後の卒業生を送り出した事になります。午後からは学生会館1階・2階を使用し「卒業記念パーティー」が開催されました。今年は学内で開催した事もあり、例年より多くの卒業生が参加をし、在学時代の思い出話や、これから歩いていく社会人としての夢などに話を咲かせ、用意された食べ物も1時間ほどでなくなるという盛況ぶりでした。

## Topic 2

### 入学式



中庭の桜の花が時を同じくして満開を迎えた4月3日(木)、入学宣誓式が挙行されました。今年度入学したのは商学部188名、法学部83名、経済学部79名の合計350名です。新たに大学生となった学生達は午後から早速オリエンテーションに参加し、希望を胸に新たな一歩を踏み出しました。

## Topic 3

### 2008年度新入生 オリエンテーション

入学式終了後、3日間に渡り新入生オリエンテーションが行われました。内容は、各学科毎に分かれての学科の特色や履修指導についての説明、学生によるサークル紹介、FP技能士資格についてや就職オリエンテーション等、大学生活を送る上で重要な説明がされ、皆、真剣な表情で聞いていました。

## Topic 4

### 保母武彦氏(前島根大学副学長)をお招きし、シンポジウムを開催

「地域再生支援センター」は、本学が商学部、法学部、経済学部の3学部体制となった2005年4月に設立されました。本学が新体制となったことを契機に地域貢献を目的として、地域の構成メンバーである自治体や企業、地域住民の皆様の地域づくりを支援しています。



センターの主要事業は3事業あります。第1に、政策提言事業。現在、モデル事業として、岡山県新庄村と協定を結び、同村に対する徹底した調査を基に、政策提言などを実施しています。第2に、人材育成事業。ここでは、行政関係者やNPO関係者、地域住民などを対象に、今回紹介するシンポジウムやセミナー開催などを行っています。第3に、自治体や地域住民からの受託調査事業。ここでは、岡山市や津山市、赤磐市、和気町などから行政改革の支援要請を受けており、助言や提言などを行っています。

シンポジウムは、岡山自治体学会との共催で、2月23日(土)に本学の781教室で開催されました。参加者は県内の市町村の首長をはじめ、行政関係者や議会関係者、NPOや企業関係者、地域住民、そして大学の研究者など100人を越えました。当日は、議会の開催や大学の春季休暇中などの時期にあたり、参加しにくい状況にもかかわらず、これだけの人数の参加がありましたことにまず感謝いたします。

今回のシンポジウムのテーマは「都市と地方一格差をどうするか」であります。三位一体改革に伴う地方財政への影響、ふるさと納税や法人事業税などの大都市から地方への財源移転問題、地域産業振興(バイオマスなども含む)のあり方、文化のまちづくり、広域行政と地方分権問題などを取り上げ、地域格差の現状の中での地域再生の方向性を展望しました。保母武彦前島根大学副学長の基調講演「地域格差と地域再生」では、地域格差の要因を経済システム、社会システム、行財政システムの崩壊という構造的危機として説明された上で、今後の農山村の再生は集落などの単位を基礎とする「実践的住民自治」が重要であることを強調しました。パネルディスカッションでは、坂本忠次岡山大学名誉教授のコーディネーターにより、筆者を含む4人の論者が活発に意見交換を行いました。地域再生支援センターは、このシンポジウムで確認された方向性を基礎にその実現を目指して、今後も活動を続けていきます。(地域再生支援センター長 経済学部教授 多田憲一郎)

## Topic 5

### 初の『情報』免許取得

私が『情報』の教員免許を取得しようと思ったのは、高校時代に先生から「これからの時代は情報化社会なので情報に関する知識は必要となる」と言われた事です。将来は教師になって生徒に教えたいと思っていたため、『商業』と『情報』の免許を取得できる商学部を選びました。

教員免許を取得するにあたって、私は商業高校の出身ではないためパソコンを使った授業をあまりしてこなかった事もあり、ほとんど大学で習う事が初めてで大変苦労しました。そのため大学の講義には必ず出席をしてわからない事などは先輩や同級生、先生などに聞いて必ず解決するようにしました。

私は、部活動を中学校から大学まで続けてきて何事にも目標を持って努力して頑張っていれば必ずと結果がついてくることを学びました。『情報』だけでなく、免許や資格を取得しようと思っている人は何事にも目標を持って努力を続けていけば必ず目標は達成できると思います。

(2008年商学部産業経営学科卒業生 山崎敦嗣)



## Topic 6

### 2008年度新入学 特待生認定証書授与式



4月9日(水)、井尻記念館4階ホールにおいて、特待生認定証書授与式が開催されました。最初に、商学部商学科9名、商学部会計学科4名、法学部法学科13名、経済学部経済学科10名、合計36名の新入学特待生を紹介し、各学科代表者に井尻学長から認定証書が授与されました。

特待生を代表して、法学部法学科の武田祥平さんが、「今後は、一層勉学に励み充実した学生生活をおくることをここに誓います」と、これから始まる学生生活に思いを込めたお礼の言葉で授与式を締めくくりました。

今回の授与式は、特待生を全教職員に紹介するとともに、彼らを激励して、より一層、勉学意欲を高めてもらおうと行われました。彼らの頑張りが、他の学生にも刺激を与え、本学に入学した学生全員が、4年間充実した学生生活を送れるよう、教職員一同、惜しみない支援をしていきたいと思っています。

## Topic 7

### ファイナンシャル プランニング専攻スタート

昨年4月FP講座を開設しましたが、本年1月までに2級技能士学科・実技とも合格1名、3級技能士学科・実技とも合格12名、3級学科のみ合格8名の優秀な成績を収めました。このFP講座を発展させて、本年4月商学部にFP専攻を新たに開設しました。

FPとは、各種金融、税制等の幅広い知識に基づき、個人金融資産の分析を行い、それをライフプランニングにあわせて運用プラン等を提案する金融のアドバイザーです。国民一人一人が「おカネを活かす」、「おカネに働いてもらう」というニーズが増大しているところから大きく注目され、発展している職業です。

FP専攻のカリキュラムは、「現代社会における金融と法」、「FP概論」などの商・法・経3学部の専門教員がオムニバス方式で担当する「入門科目」、現役のCFPがAFP、FP2級技能士等の資格取得を指導する「資格対応科目」、スキルを活かす各種金融諸理論の「コア科目」、東京からサテライト講義方式での「リーガル&コンプライアンス」、「ポートフォリオマネジメント」などの先端科目で構成されています。そのほか専攻生は、毎週月曜日のFPアワー、合宿、インターンシップ、日経新聞の購読などに参加します。

## Topic 8

### 名誉教授就任

学校法人 吉備学園は2008年4月1日付で、次の6名に名誉教授の称号を授与いたしました。



岡嶋隆三氏  
(元商学部教授)



富永悦夫氏  
(元商学部教授)



野本晃史氏  
(元商学部教授)



道行助弘氏  
(元商学部教授)



大國 仁氏  
(元法学部教授)



高井 薫氏  
(元経済学部教授)

## Topic 9

### 最新設備を備えた321教室が始動

3号館の321教室が、平成19年度の文部科学省による私立大学研究設備費等・私立学校施設整備費補助金の支援を受け、平成20年4月から装いを新たにしました。この教室は「コンピュータ支援講義 (Computer Aided Lecturing: CAL) システム」を装備し、教育効果の高い講義を行えるようになりました。

具体的には、最新のOSを搭載したハイスペックPCの導入に加え、双方向通信システム及び視聴覚装置 (ビデオ編集システム、エンコードサーバ等) を利用して、メディア媒体

の使用を強化しました。これにより「教員」



対「学生」、「学生」対「学生」(教室全体)の双方向通信を利用した講義を可能としています。また、遠隔講義を行うための専用機器 (Polycom社製) を備え、国内はもとより海外とも講義を行うことが可能となっています。

教室全面にはスクリーンを2面配置し、高輝度プロジェクター2機からそれぞれ違う映像を表示できます。教室前方・後方に複数のスピーカーを設置し、Dolby 5.1chの音響環境も実現しています。

この教室の機能を活用してこれまでのIT教育からICT教育への移行を行っていく予定です。

## Topic 10

### 「平成20年全国柔道選手権大会」に参加して

2008年4月29日 (火)、日本武道館で行われた「平成20年全国柔道選手権大会」に出場しました。中国地区予選を2位で勝ち上がり、1位の香川義篤選手 (2004年卒・岡山県警) と共に、日本武道館の畳上へ上がりました。

香川選手は、私の1学年上の先輩で、学生時代は共に汗を流しました。社会人になってからも、就職先は違いますが稽古する機会は多く、お互いに全日本柔道選手権出場を目指して稽古に励んできました。

そんな中で、2つしかない中国地区代表枠を2人で獲得できたことは、以前から目標にしていたことで、本学柔道部では初めてのことであり、本当に感慨深いものがありました。私は2回目、香川選手は3回目となる本大会で、初戦突破を目標としていました。

試合の結果、香川選手は初戦を勝ち抜き、2回戦で昨年度優勝の鈴木桂治選手に有効ポイントを取られ惜しくも敗退したものの、初戦突破、本学柔道部初の快挙です。

一方、私は、力及ばず、初戦敗退に終わってしまいました。またも、先輩に先を越されることとなりましたが、追いつき追い抜くために、これからも精進し続けて行きたいと思えます。

終りになりましたが、全日本選手権出場に当たり、多くの方々から多大なるご声援をいただき、心から御礼を申し上げますとともに、今後とも、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。本当にありがとうございました。

(図書課 菊川 顕)

## Topic 11

### オンライン・データベース導入について

2008年4月から本学図書館に法学系2種類のオンライン・データベースを導入しました。これらは、インターネットを介して研究室又は図書館の端末から洋雑誌に掲載されている論文及びデータ検索をすることができます。法学の一部の分野では迅速な研究支援が整備されました。

①Hein On Line (ハイン・オンライン) は、アメリカ法、国際法の法律文献判例データベースであり、②JURIS Online (ユリス・オンライン) は、ドイツ連邦共和国の法律データベースです。問い合わせ: 附属図書館閲覧係

## Topic 12

### 平成20年度 岡山商科大学 経営学特殊講義 I、II について

本講義は、(社)岡山経済同友会の会員を「ボランティアプロフェッサー」として派遣していただいております。日本の将来を担う大学生に、経営者の未来への想い、またそれを実現させる経営活動について、過去12年間にわたり講義をしていただいております。受講学生は、本講座を通して実践的な経営理論や経営手法の習得を目指しています。

ところで、地域経済社会は、各企業の活動と共に、経済界、地域社会を支援する公・民営団体等の活動が相まって、その特徴を形作っています。岡山県内には、多くの経済界・地域社会を支援する団体が存在し、活発に活動しておられますが、その活動内容について统一的に講義をする場がこれまで無かったことから、平成20年度前期・後期は、「経済界、地域社会を支援する団体」の活動について、岡山経済同友会と本学とで教育プログラムを企画しました。

1団体2回の講義で年間を通して、12講義プログラムを企画し、提供することとしています。岡山県商工会議所連合会、岡山県経営者協会、(社)岡山経済同友会、岡山県中小企業団体中央会、岡山県商工会連合会、(社)日本青年会議所、(財)岡山県産業振興財団、岡山県商店街連合会、AMDA、JETRO岡山、JA岡山中央会、岡山リサーチパークインキュベーションセンター (ORIC) などにご講義をしていただきます。

## Topic 13

### 平成19年度 大学機関別 認証評価の認定を受けました

本学は平成19 (2007) 年度大学機関別認証評価において、財団法人日本高等教育評価機構が定める大学評価基準を満たしているとの認定を受けました。認定期間は2007年4月1日～2014年3月31日です。

## 元プロバスケットボール選手 本学園バスケ部監督就任(納谷幸二)



こんにちは。平成20年度より、岡山商科大学入試課に入りました納谷幸二です。昨シーズンまでアイシンシーホース(JBL)のメンバーでした。その経験を生かして、生徒、学生をバスケットボールを通して成長させることが出来ればと思っています。自分なりの仕事をしていきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願ひします。

## バスケットボール教室開催

今年で4回目となるバスケットボール体験教室は、元JBLアイシンシーホースの納谷幸二選手が本学園のバスケットボール部監督に就任したことを記念して、5月17日(土)、18日(日)に中学生、高校生を対象に開催されました。

今回は指導者として、アイシンシーホースの小宮邦夫選手、現役日

本代表の柏木真介選手、網野友雄選手、竹内公輔選手を招き、プロならではの迫力あるプレーを随所に披露しながらの指導になりました。

17日は県内の中学生約120名が参加してくれました。

基礎練習の中で指導者の皆さんが共通して子供達に教えたことは、基本の忠実さ、そこからすべてが始まり、そして楽しくプレーしていくことで上達につながるということでした。参加チームとのミニゲームも行われ、一流選手の巧みなプレーで一番の盛り上がりを見せました。

教室終了後にはコーチ陣との写真撮影、サイン会と参加生徒にとっては思い出の一日になったようです。

18日も県内の高校生約60名が参加され、前日同様に基礎から始まり、ミニゲームという内容でしたが、この日のミニゲームではプロ選手に果敢に1対1を挑む生徒もあり、会場を沸かしていました。この日も写真撮影、サイン会があったのですが、プロ選手からの使用グッズのプレゼントといったサプライズもありました。

最後にこの教室から将来のプロ選手が誕生することを希望するとともに、バスケットボールの普及に貢献出来ればと願ひます。



エッセー  
数珠つなぎ

## 「晴れの国の雨男」

法学部講師 成澤 寛

風薫る五月となり、研究室の窓から見る桜も緑を揺らしている。そろそろ雨の季節も近づいているが、さて今年の岡山の梅雨はどうなるだろうか。

私は、ひどい「雨男」である。迷信にちがいないと信じたいが、自分だけがそう感じているのではなく、周囲が口を揃えて言うのだから間違いない。思えば、やたらと雨の記憶が多い。旅行に出れば、大概1日は雨である。特に中学や高校での修学旅行はすべての日程が雨だった。結婚式はわざわざ最も雨の確率が少ない五月初旬を選んだにもかかわらず、結局雨が降った。

それだけならまだ運が悪いで済ませられるが、雨が降りそうなときはほぼ確実に降り始めに外にいるし、雨の気配もなかったのに突然の夕立に遭ったりする。映画を見て外に出てみると雨が降っている。バスに乗ったときには晴れていたのに降りるときには土砂降りになっている。ちょっと息抜きに近所のコンビニに出かけて買い物をして外に出ると雨が降っている。台風にもよく遭う。しかも悔しいことに、急いで屋内に逃げ込むと雨が止む。狙い打ちにされていかのようだ。まさに「嵐を呼ぶ男」

である。

最近では、もう諦めている。わずかでも外に出るときは必ず折りたたみ傘を持ち歩くようにしているし、屋外イベントでは雨を覚悟する。ただ、同伴者は気の毒である。雨など想定していないから、ずぶ濡れになる。大抵の場合「おまえのせいだ!」という怨嗟の音が向けられることになる。釈然とはしないが、そうかもしれないと弱気になる。前世というものがあるのなら、私は河童だったにちがいない。そういえば、東京に住んでいたときは浅草の合羽橋の入り口に住んでいた(合羽橋の由来の一説として、河童が治水のための堀割工事を手伝ったという昔話がある。なお河童を目撃すると商売繁盛するらしい)。

ところで、ここは「晴れの国」岡山である。来岡から1年ちょっとしか経たないが、果たして昨年度の晴天率はどうだったのだろう。桃太郎は「雨男」を見事退治してくれるだろうか。このエッセーが掲載される頃には結果が出ているだろう。まあ、悪い方に転んでも水不足の心配がなくなるのだが。

## 作家

の視点

石井敏弘

江戸川乱歩賞作家  
本学非常勤講師  
(第十七期商学部卒)

## 精神的な土壌について

商大の教壇に立つようになって三年目。

この頃になって、ようやくプログラム全体の流れの中の講義が可能になってきたような気がしています。初年度は無我夢中で目の前にあることを片づけていき、自分が生徒に提供できることを次々に提示するに留まっていたかも知れません。推理小説をメインにした文学の講義を行うための適正なテキストがこの世に存在せず、それを自分で作るという作業もあったため、非常にきつかった一年間でした。

二年目もこのテキストの仕上げがぎりぎりまでかかってしまい、あまり余裕はなかったのですが、ようやく自分が生徒に提供できる価値ある考えとは何かというところが見えてきた気がします。とりわけ後期の講義のために作り上げたテキストは、不思議にも自分自身を教え導く役割を持っていたようです。

足場が固まったと感じたのは、やはりこの春からでした。知識や技術はいくら切り売りしても、それを統合的に生かすための哲学や価値観がなければ、有効に生かすことはできないのだということを、今にして感じます。

今、非常に便利な世の中になって、様々な情報や技術を、ごく簡単に収集することができるようになりました。しかし、それだけでは不十分です。インターネットにせよ、日常に溢れる様々な便利品、有用な情報も、それを入力する人に精神的な土壌がなければ、きれいな花を咲かせることはできないのかも知れません。

# Asia Report アジアレポート

## アジアビジネス専攻の現在

アジアビジネス専攻長 蒲 和重

1期生については、昨年度1年間の中国留学を経験し、実質的に本年度が岡山商科大学での学生生活の始まりとなります。彼らのカリキュラムは中国語スキルアップのための正規講義はもちろんですが、中国人留学生と日本人学生が互いに母国語を教えあうチューター制度も開始しました。それ以外の科目についてはビジネスに関する講義モデルを提供し、講義中にディスカッションの機会を多く取り入れています。講義中に発言することにも相当慣れてきたようです。

さて、本年度は新たに2期生8名が大連での留学生生活を開始しました。2期生にはこの春に高校を卒業した人もいれば、高校時代すでに大連への留学経験のある人、就職経験のある人、それに韓国からの留学生とさまざまメンバーがいます。5月には蒲が大連を訪れて彼らの様子を見てきましたが、昨年度と比べると1期生によってさまざまな情報の蓄積が進み、また、現地での人脈づくりもできているので非常に順調な留学生生活を送っているように思われました。この間にはまた、学生との懇談や中国語の授業見学なども行ないましたが、今回初めての出張集中講義（「ビジネス概論Ⅱ」4回分）も2日間に分けて行ないました。

## 中国での生活体験

アジアビジネス専攻第1期生 栗野 龍治

留学生生活はいいです。日本に住んでいては得られないものが多くあります。「百聞は一見に如かず」まさにそのとおりでした。大学入学後すぐに中国に留学に行きました。イメージは、中華料理、共産主義、漢字。あんまりぱっとしないイメージがありました。しかし実際についてみるとお世辞にもきれいな町とは言えませんでした。すぐに慣れました。

最初は、全く何を話しているか分からず、とりあえず、言われたことも分からないので、物を買うときは現地の人の電卓で出た数字のお金を払っていました。

留学して何が面白いと言われてたら習った事がすぐ使えることです。正直日本にいるときは、英語を授業でやっても使うこともなく、また使う場面もないのでまったく身につけません。恐らく日本で中国語をやっていたらそうなっていたでしょう。しかし、習ったらすぐに買い物などで活かせるのですぐに覚えていきます。

前期は基礎部分を集中してやりました。また、学校で仲良くなった中国人と勉強を一緒にしたり、買い物に連れて行ってもらったりして穴場的な場所を教えてもらったりなど交流を深めました。夏休みになると、ある程度しゃべれるようになっていたので、友達と海に行ったりしました。

後期では、クラスが変わり商大の留学メンバーとクラスが別々になりました。私のクラスは、日本人、韓国人、ロシア人でした。後期は、クラスが変わったことにより知り合いが増えたこともあり、私は内モンゴルに行ったりスキー旅行に行ったりしました。最初は、自国語が通じる日本人と仲良くなりました。同じ日本人なのでクリスマス、正月などは一緒に祝ったりしました。そして韓国人、ロシア人も仲良くなりました。特にロシア人と仲良くなったため、私は個人的に両親に頼んでロシア語の教科書を送ってもらいました。基本の会話では中国語と英語を使っていましたが、仲良くなっていくと互いの自国語に興味を持ち、ちょっとしたことや挨拶などは相手の国の言葉になりました。

留学に行ったことにより、言語に対して深く愛着を持ち、その国を理解し、また他国の留学生と交流を深めることができました。機会があればまた留学に行きたいと思っています。

## 孔子学院便り

孔子学院講師 韓 雲冬

6月8日(日)は旧暦の5月5日、ちょうど中国の伝統的な祝祭日「端午節」にあたります。中国語・中国文化の普及を役目とする本学孔子学院の主催による端午節交流会は関係各位のご協力の下で、当日午後2時から図書館5階の孔子学院で開催されました。県庁、経済界、新聞社の方々を始め、津島小学校の児童ら、近隣住民の方々また中国からの留学生等80人余りが会場まで足を運んでくださいました。3時間にわたる交流会は端午節にまつわる伝説の説明から、粽(ちまき)作りの体験、切り紙・五色糸コーナー、更に孔子学院中国語講座の受講生による中国語の歌、留学生の楽器演奏、また児童らの中国語の歌等、中身の濃いイベントが次から次へと展開されました。粽一つで文化や言葉の違いを乗り越え、会場にいる誰もが一つになり、国境などそこにはありませんでした。粽作りに熱心な顔、出来たての粽に舌鼓を打つ声、又、出し物に盛り上がっていく歓声、会場は粽の匂いより、幸福の匂い

でいっぱいになりました。「皆で手と手を取ってやれば、何とかかなる」という異文化コミュニケーションのキャッチフレーズを再認識できた、有意義な一日となりました。



サクセスを勝ち取ろう!

# 就職 便り

Okayama Shoka University

## 2007年度 就職活動を振り返って



当初、「就職売り手市場」と言われる昨今の状況からか安易に考えていたのではないかと思われる学生が多く、内定状況は昨年度に比べマイナス3%前後で推移していた。しかし、就職活動を通じ、学生が成長していった結果、最終的な内定率は、昨年度を上回

る97.6% (昨年度96.3%) で終えることができた。企業の求人意欲は高く学生にとり、ここ数年は、チャンスが拡大している。しかし、厳選採用の色合いは濃く、就職への強い意志が持てず、志望企業、職種を明確にできない学生には厳しい状況であったと感じた。近年、企業の求人活動は早期化、長期化していると言われるが、本学の学生にもこのことは当てはまっており、早くから積極的に活動を起こした学生は、3年生の3月には内定をいただいた者もいた。一方、活動が遅れた学生は、4年生の3月に漸く就職が決まった者も存在した。

早い時期に就職を決定すれば良いとは、言い切れないが早くから1社でも多くの企業に接し、したい仕事、入社したいと思える企業を見つけ、将来を見据えた有意義な就職活動をしてもらいたいと願っている。

そのためにも、就職対策講座などへ積極的に参加することにより就職活動に対する不安を解消し、就職活動の仕方を身につけ、意欲を高めて臨んでもらいたい。

## 主な就職先 (2007年度)

### ●商学科●

【製造】 祐徳薬品工業(株)、明星工業(株)、モリマシナリ一(株)、難波プレス工業(株)、(株)コータイ、日本食研(株)、(株)サンラヴィアン、(株)ニッカリ【卸売】 (株)外林、(株)桑宗、ヨコハマタイヤ中国販売(株)、(株)カワニシホールディングス、中商事(株)、浅野産業(株)、(株)セイナス、山陽イシダ(株)【小売】 (株)キキハウス、青山商事(株)、(株)アプライド、(株)コジマ、(株)ヤマダ電機、(株)仁科百貨店、(株)山陽マルナカ、(株)ハロース、イワタニ山陽(株)、(株)松屋フーズ【金融】 西京銀行、おみじ銀行、伊予銀行、おかやま信用金庫、備前信用金庫、たちばな信用金庫、全日信販(株)【サービス】 テレビせとうち(株)、日本郵政(株)【公務員】 岡山

県警、陸上自衛隊、刑務官、つるぎ町役場

### ●産業経営学科●

【建設・不動産】 穴吹興産(株)【製造】 大和クレス(株)【卸売】 (株)西郡商店、岸本石材工業(株)、(株)江口電機【小売】 (株)高松天満屋、マックスバリュウ西日本(株)、(株)山陽マルナカ、(株)ザグザグ【金融】 新光証券(株)、京都信用金庫【運輸・倉庫】 (株)両備ホールディングス【旅行・サービス】 ビジネスセンター岡山(株)【公務員】 岡山市消防局

### ●国際観光学科●

【建設・不動産】 セキスイハイム中国(株)【製造】 (株)石井表記【運輸・倉庫】 (株)上組【旅行・サービス】 西日本旅客鉄道(株)、トップツアー(株)、ビホクツーリスト(株)、(株)倉敷国際ホテル

### ●法学科●

【建設・不動産】 扶桑建設工業(株)、穴吹興産(株)【製造】 テラル(株)【卸売】 (株)ヒラタ、八洲電機(株)、(株)内外プロセス【小売】 (株)マルナカ【金融】 (株)中国銀行、(株)西京銀行、おかやま信用金庫、筑後信用金庫、四国労働金庫、広島市信用組合、富士火災海上保険(株)、JA兵庫西【運輸・倉庫】 ヤマト運輸(株)、岡山県貨物運送(株)【公務員】 香川県警、広島県警、奈良県警、大阪府警、宮崎県警、広島市消防局、真庭市消防局、刑務官、自衛隊

### ●経済学科●

【製造】 テラル(株)、岡山ゴム(株)【卸売】 岡山四国共和(株)、東洋濾紙(株)【小売】 (株)天満屋ストア、(株)リックコーポレーション、(株)マルイ、ネットトヨタ岡山、メガネの田中チェーン(株)、はるやま商事(株)、ダイキ(株)、岡山スバル自動車(株)、島根トヨタ(株)【金融】 四国労働金庫、おかやま信用金庫、備前信用金庫【運輸・倉庫】 岡山県貨物運送(株)【旅行・サービス】 (株)グロップ、(社)岡山県農協電算センター

## 2008年度「3年生対象就職対策講座」始まる!

2010年3月卒業予定となる3年生を対象とした「就職対策講座」が6月4日に始まりました。第1回の講座では、「就職活動について考えてみよう」というテーマで、就職活動の大まかな流れやスケジュール、そして企業が求める人物像などについて説明しました。参加した学生からは、「就職活動へのやる気が高まりました。」「本格的に就職活動が始まる前に、自分のしたい仕事や志望業界を決めて就職活動に取り組んでいきたいです。」などの声が聞かれました。同講座は来年1月までの計12回開催します。また、就職部ではこのほかにも、就職合宿や企業バスツアー、就職筆記試験対策講座など開催する予定です。

### ■3年生対象就職対策講座開催日程

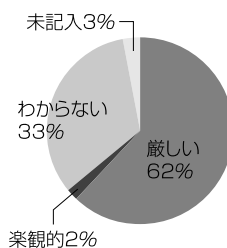
日時	内容	場所
6月 4日(水) 14:40~16:10	第1回「就職活動について考えてみよう」	772番教室
6月18日(水) 14:40~16:10	第2回「価値観発見ゲーム—ゲームで知るあなたの価値観—」	772番教室
7月 2日(水) 14:40~16:10	第3回「内定者報告会—就職活動その成功の秘訣とは?—」	772番教室
9月24日(水) 14:40~16:10	第4回「商大OBの内定がもらえる話」	772番教室
10月18日(土) 10:40~16:10	第5回「ビジネスって面白い」から始める就職活動	772番教室
10月29日(水) 14:40~16:10	第6回「人事部長に聞く」	772番教室
11月 5日(水) 14:40~16:10	第7回「エントリーシート・履歴書対策」	772番教室
11月19日(水) 14:40~16:10	第8回「サイトからの企業研究のすすめ」	772番教室
12月 4日(木) 14:40~16:10	第9回「面接実践トレーニング①」	841番教室
12月11日(木) 14:40~16:10	第10回「面接実践トレーニング②」	841番教室
12月17日(水) 14:40~16:10	第11回「面接実践トレーニング③」	772番教室
1月 7日(水) 14:40~16:10	第12回「企業へのアプローチとスケジュール管理」	772番教室

※上記の他にも行事を予定しています。また、他学年対象の行事等も予定しています。詳細は、本学ホームページをご覧ください。

## 3年生の62%が就職環境に厳しさを感じる!

昨今の就職戦線は「超売り手市場」とも評されており、テレビ・新聞等でも企業の採用意欲が高い旨の報道が目立ちます。しかしながら、実際に就職活動中の4年生に聞いてみると「思った以上に厳しい」などの声もあり、複数内定の学生がいる一方で、内定がなかなか出ない学生もいるなどの二極化が見られます。そのような中、2010年3月卒業予定である3年生を対象にアンケート調査を実施したところ、62%の3年生が就職活動に厳しさを感じるという回答がありました。これらは、先輩学生の就職活動の状況などを目の当たりにし、厳しさを実感した模様です。しかし、一方で33%の学生は「わからない」とも回答しており、就職活動の現状を認識する上でも、ある意味における二極化があるのではないかと考えられます。実際、企業においても採用意欲はあるものの、しっかり学生を選考し、質重視という姿勢があり、現実には厳選採用の様相であると思われる。

※調査について:2008年6月4日開催の3年生就職対策講座出席学生を対象に調査。



## 就職部取扱インターンシップ募集

就職部では本年度、4つのインターンシップ制度を募集しています。インターンシップとは企業で就業体験するもので、早い段階において業界・企業を知ること、ミスマッチのない就職を目指すものです。毎年、本学からも多数の学生が参加し、貴重な体験をしています。

○海外インターンシップ(フィリピン)(株)石井表記協定事業)

プリント基板製造装置メーカー(株)石井表記(本社:広島県福山市)の関係会社でフィリピン現地法人JPN社への約2週間のインターンシップ。2006年度スタート。

○税理士インターンシップ(中国税理士会岡山県支部連合会協定事業)

岡山県内の税理士事務所へのインターンシップ。このような税理士会と大学とのインターンシップ協定は、全国の私立大学では初めてです。2007年度スタート。

○信用金庫インターンシップ(岡山県信用金庫協会協定事業)

岡山県内の信用金庫へのインターンシップ。2007年度スタート。

○ハイパーキャンパスシステム

各都道府県経営者協会等が中心となりあらゆる業種等へのインターンシップを提供します。本学では就職部が窓口となります。

# 情報アラカルト

## 人事異動

2月26日付

●退職  
〔附属図書館〕  
事務職員／富岡香織

3月31日付

●退職  
〔法学部〕  
教授／大國 仁  
講師／萩原一之  
〔経済学部〕  
教授／高井 薫  
〔商学部〕  
教授／野本晃史  
教授／岡嶋隆三  
教授／道行助弘  
教授／富永悦夫  
招へい准教授／黎 曉妮

〔法人事務局〕  
課 長／三宅高久  
●退任  
〔商学部〕  
商学科長／岡本輝代志  
〔法学研究科〕  
法学研究科長／香山忠志  
〔就職部〕  
就職部長／富永悦夫  
〔教学部〕  
教学部次長／西山 徹

4月1日付

●採用  
〔法学部〕  
講師／渡辺 渡  
〔商学部〕  
招へい准教授／汪 靈靈  
招へい准教授／韓 雲冬  
〔法人事務局〕  
参 事／三宅高久

〔入試課〕  
事務職員／納谷幸二  
●新任  
〔商学部〕  
商学科長／田中 潔  
〔法学研究科〕  
法学研究科長／伊藤治彦  
〔就職部〕  
部 長／山口博幸  
●配置換え  
〔経済学部〕  
准 教授／竹山象三  
〔教学部学生課〕  
課 長／竹内藤一郎  
嘱託職員／赤松美由紀  
●配置換え・昇任  
〔総務企画課〕  
主 任／村岡 崇  
●昇任  
〔法学部〕  
准 教授／砂川和泉

〔法人事務局〕  
課 長／荻野素也  
〔総務企画課〕  
主任(技能員)／東 清隆  
〔教務課〕  
主 任／遠藤みゆき  
〔就職課〕  
課 長／薬師寺祐介

5月1日付

●採用  
〔商学部〕  
准 教授／黎 曉妮

5月8日付

●退職  
〔情報教育センター〕  
嘱託職員／小川敬治

## 新任教員紹介



商学部招へい准教授  
汪 靈靈(オウレイレイ)

遼寧師範大学中国現当代文学研究科卒業、修士。大連外国語学院大学漢学院、孔子学院副院長。担当科目は学部生の初級、中級中国語講義、及び孔子学院中国語講座。趣味は車の運転と本を読むこと。



商学部招へい准教授  
韓 雲冬(カン ユントウ)

中国東北師範大学大学院日本語研究科卒業、修士。大連外国語学院大学日本語学院。担当科目は学部生の初級中国語講義、日本語補修クラスの日本語文法、及び孔子学院中国語講座。趣味はスポーツと旅行。



法学部 講師 渡辺 渡

法学科、経済学科の教職課程担当です。商大生の皆さんとともに、知的好奇心を最大限にふくらませて、将来の人材づくりに取り組んでいきたいと思っています。日本史 I、IIも担当しています。

岡山商科大学孔子学院特別企画

## 中国歴史文化を尋ねる旅

～大連・済南・泰山・曲阜・北京6日間～

【期間】2008年9月11日(木)～9月16日(火)

- 企画主催:岡山商科大学孔子学院 ●現地受入れ:大連外国語学院大学
- 旅行主催:株式会社アジア・コミュニケーションズ(国土交通大臣登録旅行業第1816号)
- 後援:岡山市日中友好協会

### <日 程 表>

日	月日(曜)	都市名	交通機関	時刻	行動予定	食事
1	9月11日(木)	岡 山 大 連	MU2014 専用車	14:30 15:30	【出発】中国東方航空にて大連へ 大連空港着後、市内へ ホテルチェックイン後、夕食 (大連泊)	× 機 夕
2	9月12日(金)	大 連 大 連 濟 南 泰 山	専用車 CZ6435 専用車	午前 15:00 16:00	大連外国語大学旅順キャンパス見学 国内線にて済南へ 済南着後、専用車で泰山へ (泰山泊)	朝 昼 夕
3	9月13日(土)	泰 山 曲 阜	専用車 ロープウェイ	午前 午後	岱廟と孔子が泰山を上る道を迎って石経閣まで行きませ 曲阜へ移動 (曲阜泊)	朝 昼 夕
4	9月14日(日)	曲 阜 南 京	専用車 D38次	18:19 21:41	孔林、孔府、孔廟を見学後、済南へ 時速200キロの動車組(中国新幹線)にて北京へ (北京泊)	朝 昼 夕
5	9月15日(月)	北 京	専用車		八達嶺万里の長城、故宮など (北京泊)	朝 昼 夕
6	9月16日(火)	北 京 岡 山	MU2013	早朝 8:30 13:30	空港へ 中国東方航空にて岡山へ 【帰国】	朝 機 ×

※移動交通機関及び時刻については変更される場合があります。  
※利用予定ホテル 大連:万達国際飯店(4星クラス) 泰安:泰山賓館(3星クラス) 曲阜:關里賓館(3星クラス)  
北京:船舶重工酒店(4星クラス)

【旅行代金】177,000円(岡山空港発着、添乗員同行、お二人1部屋利用)  
※燃油サーチャージ14,000円が必要です ※お一人部屋追加代金30,000円(5泊)

【募集人員】30名(最少催行人員20名)【申込締切】2008年8月15日(金)

■お申込、お問い合わせ先 株式会社アジア・コミュニケーションズ  
〒700-0902 岡山市錦町5-15南田辺ビル4階 TEL(086)231-0334 FAX(086)225-5041

## 計算書類(岡山商科大学収支内訳表)

### 資金収支内訳表

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

■収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	1,600,830	1,645,151	△ 44,321
手数料収入	26,507	26,531	△ 24
寄付金収入	17,000	18,786	△ 1,786
補助金収入	167,720	144,406	△ 23,314
資産運用収入	6,882	7,471	△ 589
事業収入	6,350	4,992	△ 1,358
雑収入	87,422	86,173	△ 1,249
収入の部 合計	1,912,711	1,933,510	△ 20,799
■支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,210,734	1,179,365	△ 31,369
教育研究経費支出	384,787	328,307	△ 56,480
管理経費支出	133,268	109,025	△ 24,243
借入金等利息支出	8,442	8,442	0
借入金等返済支出	43,720	43,720	0
施設関係支出	1,313	1,531	△ 218
設備関係支出	69,706	63,814	△ 5,892
支出の部 合計	1,851,970	1,734,204	△ 117,766

### 消費収支内訳表

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

■収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	1,600,830	1,645,151	△ 44,321
手数料	26,507	26,531	△ 24
寄付金	17,000	18,786	△ 1,786
補助金	167,720	144,406	△ 23,314
資産運用収入	6,882	7,471	△ 589
事業収入	6,350	4,992	△ 1,358
雑収入	87,422	86,173	△ 1,249
帰属収入合計	1,912,711	1,933,510	△ 20,799
基本金組入額合計	△ 5,000	△ 21,947	△ 16,947
消費収入の部 合計	1,907,711	1,911,563	△ 3,852
■支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	1,194,397	1,163,178	△ 31,219
教育研究経費	515,371	460,012	△ 55,359
管理経費	147,494	126,369	△ 21,125
借入金等利息	8,442	8,442	0
資産処分差額	19,298	19,298	0
消費支出の部 合計	1,885,002	1,777,299	△ 107,703

## 2008年度前期「夕学講座」開催予定一覧

「夕学五十講」は、「時代の「潮流と深層」を読み解く」をコンセプトに、大学人をはじめ企業人・文化人・ジャーナリスト等、各分野の第一線で活躍する方々を講師に招き、東京・丸の内で開催する定例講演会です。慶應義塾の社会人教育機関である慶應丸の内シテイクャンパス（慶應MCC）が運営し、全国にサテライト（衛星）配信しています。

6/27(金)

### 福岡伸一

●青山学院大学理工学部 教授、分子生物学者

「生命観を問い直す～機械論から動的平衡へ～」

7/10(木)

### 長瀬勝彦

●首都大学東京 大学院 社会科学部 教授

「働く人のための意思決定論」

7/16(水)

### 猪瀬直樹

●作家、東京都副知事

「この国のゆくえ」

7/18(金)

### 山中伸弥

●京都大学IPS細胞研究センター センター長、再生医学研究所 教授

「iPS細胞がつくる新しい医学」

7/23(水)

### 松岡正剛

●編集工学研究所 所長、ISIS編集学校 校長

「日本という方法」(仮題)

7/30(水)

### 冷泉貴実子

●冷泉家時雨文庫 常務理事

「和歌に詠まれた四季と年中行事」

#### ■お申込み・お問合せ先

●岡山商科大学社会総合研究所

TEL&FAX 086-256-6656 E-mail syaken@po.osu.ac.jp

●岡山商工会議所連合会事務局 (岡山商工会議所企画広報部)

TEL 086-232-2262

【会場】岡山商科大学 7号館3階【開催時間】18:30～20:30(18:00開場)

【受講料】●一般 パスポート券(15回)15,000円 受講券(1回)2,000円

●会員 パスポート券(15回)12,000円 受講券(1回)1,500円

\*ご勤務先が、岡山県下 各商工会議所の会員企業様であれば、会員料金でご受講いただけます。

\*バスポート券を購入の方は、継続受講割引(2007年度中にバスポート券を購入くださった方に限ります)をご利用いただけます。

## オープンキャンパスで新たな発見!

今年度も下記の日程でオープンキャンパスを開催します。「体験授業」、「先輩とのフリートーキング」、「学部学科説明」、「AO入試エントリー」「学食無料体験」など盛りだくさんの内容で、皆さんをお待ちしています。事前予約の必要はありません。

【日程】7月19日(土)、8月1日(金)  
8月30日(土)、9月27日(土)

【時間】11:00～16:00

岡山駅西口から送迎バスを運行。

〈お問い合わせ〉入試部入試課(086-256-6652)

## 「オフキャンパス・セミナー」申し込み受け付け中!

本学教員が、企業等に出向いて講義を行う「オフキャンパス・セミナー」の申し込みを受け付けています。実施期間は、9月30日までです。後期(10月1日以降)の申し込み受け付けは、2月28日までとなっております。※前期の申し込みは終了しました。

詳細につきましては、社会総合研究所(086-256-6656)までお問い合わせください。

No.	所属学部等	講師氏名	専門分野	テーマ
1	法学部 教授	青井 秀夫	法理学 法哲学	●現代国家における法の構造と多様性 ●ヨーロッパの田舎と日本の都会 -『羊蹄和才』- ●ドイツ文化雑感
2	商学部 教授	青木 薫	教育経営論	●大学教育経営の構造改革-硬構造から柔構造へ-
3	法学部 教授	安宅 敬祐	租税法 地方自治法 地方税財政論 自治体経営 行政評価	●税法と信義則 理由付記・人格なき社団 ●三位一体の改革 ●国から地方公共団体への税源移譲、地方交付 ●税の改革、国庫補助負担金の整理合理化 ●新しい行政のパラダイム
4	商学部 教授	飯島 祥二	建築環境工学 環境心理学	●建築環境における建築色彩の意味と役割 ●人間・環境系研究に成果と今後の課題
5	商学部 教授	井上 倫明	健康教育 健康スポーツ実践	●健康づくりと運動 ●生活習慣病予防 ●骨粗鬆予防 等
6	商学部 教授	今井 成男	観光経営論 旅行産業論	●日本人の国内観光旅行の現状と将来 ●日本人の海外観光旅行の現状と将来
7	商学部 教授	岩橋 邦彦	健康教育 運動生理学	●セルフコントロールと健康管理 ●日常生活における生活習慣病の予防
8	商学部 教授	大城 裕二	保険論 リスクマネジメント論	●環境変化とリスクマネジメント
9	商学部 教授	大 紘一	経営工学	●生産管理 ●生産性向上
10	商学部 教授	岡田 浄二	マーケティング論 コミュニケーション論	●顧客満足と関係性マーケティング
11	商学部 教授	岡本 輝代志	商業経営論 商業学	●都市再生に向けた地域活性化方策 ●環境問題とそれへの取り組み ●商店街活性化方策
12	商学部 准教授	香月 恵里	ドイツ語 外国文学	●現代に生きるドイツの世紀末
13	商学部 准教授	浦 和重	経済学 流通経済論	●アジアでのビジネス ●Business in Asia
14	商学部 講師	川合 一央	経営史	●日本のスタートアップ企業
15	法学部 教授	九鬼 一人	公共哲学	●価値合理性と経済倫理
16	商学部 教授	小松原 実	情報技術論 マルチメディア表現・技術	●教育工学とICTの利用 ●科学・ものづくり教育
17	商学部 准教授	島田 伸夫	観情報処理概論	●多変量解析のすすめ
18	法学部 講師	下田 大介	民法	●交通事故の賠償問題
19	法学部 准教授	砂川 和泉	国際法	●国際紛争の処理について
20	経済学部 教授	多田憲一郎	財政学 地方財政論 地域経済論 NPO論	●地方分権時代の地方財政改革 ●住民協働と地域づくり
21	経済学部 教授	田中 勝次	国際金融論 国際経済政策	●地域間産業連関表からみた地域の特性
22	商学部 教授	田中 潔	計算機統計 社会調査	●データを活かす企業の新技法 ●迷惑メール その傾向と対処について
23	商学部 教授	堤 一浩	財務諸表論	●退職給付会計(年金会計) ●わが国における財務諸表の国際化
24	商学部 教授	鳥越 良光	マーケティング論 消費者政策論	●勝ち組と負け組の分かれ道 ●地域ブランド戦略 ●福祉商業への取り組み ●地域再生への戦略
25	経済学部 教授	西 敏明	品質経営 品質管理	●食の安全について ●品質を考えたものづくりについて
26	商学部 准教授	西中 恒和	数学	●考える方法・考える楽しみ ●無限の世界
27	法学部 教授	西山 徹	英文学	●17、18世紀の実録および架空の太平洋旅行記について
28	商学部 教授	三宅 忠明	比較文化論 ヨーロッパ文化	●英語取得における歌の効用 ●受容型と発信型の英語学習
29	商学部 准教授	森本 和義	管理会計論 原価計算論	●経営分析

(5/16現在 50音順)

## 2009年度入試日程

試験区分	学部	出願期間	試験日	合格発表	試験会場	
AO入試	全学部	エントリー期間: 7月1日(火)～2月6日(金) 試験場: 本学	「岡山商科大学で学びたい」そんな君たちからのエントリーをお待ちしています。 入試部: 086-256-6652			
推薦入試	指定校推薦	全学部	9月16日(火)～10月3日(金)	10月11日(土)	10月17日(金) 本学	
	専門能力推薦	全学部	9月16日(火)～10月3日(金)	10月12日(日)	10月17日(金) 本学	
	一般公募制推薦	全学部	前期	10月6日(月)～10月24日(金)	11月1日(土)	11月7日(金) 下記前期AB日程試験会場参照
			後期	10月27日(月)は持参可 11月10日(月)～11月28日(金) 12月1日(月)は持参可	11月2日(日) 12月6日(土) 12月7日(日)	12月12日(金) 本学
一般入試	全学部	前期	A日程 1月5日(月)～1月23日(金) B日程 1月26日(月)持参可	1月30日(金) 1月31日(土)	2月6日(金) 下記前期AB日程試験会場参照	
		中期日程	1月26日(月)～2月13日(金) 2月16日(月)持参可	2月20日(金)	2月27日(金) 本学	
		後期日程	2月16日(月)～3月6日(金) 3月9日(月)持参可	3月13日(金)	3月19日(木) 本学	
大学入試センター試験利用入試	全学部	前期日程	1月5日(月)～2月2日(月)	2月13日(金)	個別試験は課さない	
		中期日程	2月3日(火)～2月26日(木)	3月5日(木)		
		後期日程	2月27日(金)～3月12日(木)	3月19日(木)		

●ご意見・ご感想等は、総務企画課学報担当まで E-Mail/gakuho@po.osu.ac.jp

発行所

岡山商科大学  
〒700-1860 岡山市津島京町2丁目10-1  
電話 086-256-1064(代)

印刷

山陽印刷株式会社